

◇◆彫刻（ちょうこく）◆◇

表現（ひょうげん）と材料（ざいりょう）について
～小学校低学年用（しょうがっこうていがくねんよう）～

●彫刻（ちょうこく）ってなんだろう？どこにあるの？

『こうえんのくろくて、ちょっとみどりいろしたあのえらそうな人…』
『えきのまえのを上げた女の人、あれってちょうこくでしょう？』
『こうえんならあのまるくてつるつるした大きな石ころ、あれもちょうこく？』
『おかあさんといくデパートのおみせにも人がたっているけどあれは？』



○ちょうこくはきっとみんなもみたことがあります。でもちょうこくってほんとうはいつたいどんなものなのでしょうか？ちょっとかんがえてみましょう。

◇彫刻の材料（ざいりょう）◇

『彫刻はどんなものでできているのかな？』

○木や石やきんぞく（てつやどうやステンレス）や、やいたねんど、石膏（せっこう）・プラスチックなどいろいろなものでつくられています。

→【会場に行ったら…】

どのちょうこくが、どんな材料でできているか、みてみよう！

◇彫刻のつくりかた◇

『ちょうこくってどうやってつくるのかな？』

なにで作るかによってつくりかたはそれぞれちがいます。

○木や石は大きなかたまりを「のみ」という、ほうちょうのようなどうぐをつかってけずっていきます。

○きんぞくや、やいたねんど、せっこうやプラスチックをつかってつくる時は、はじめに、木のぼうにねんどをつけてかたちをつくって、そのあとでせっこうで「かた」をとり、その「かた」の中にざいりょうをながしこんでつくります。

☆せっこうってどんなもの？

「せっこう」はもともとはしろい「こな」。これを水にまぜるとぎゅうにゅうみたいになって、10分くらいするとクリームみたいにとろとろになります。20分くらいたつといれもののかたちにかちかちにかたまってしまいます。せっこうはたとえば、はいしゃさんが「は」のかたちをとってあたらしい「は」をつくるときにもつかっています。これをつかって、ひとやどうぶつのような、もとのかたちをつくるのです。

〇なにをつかってつくっても、つくる人は、さいごにいちばんきれいにみえるいろはなにかな、とかんがえて、いろいろなものをつかっているをつけます。

「え」のいろとはちがうけれど、ちょうこくのいろもなかなかおもしろいものですよ。

→【会場に行ったら…】

このほかにもいろいろなほうほうがあって、みんなあたらしいことをかんがえだしては、さくひんをみんなのまえでみせています。会場に行ったら、どんなつくりかたをしているのかかんがえてみましょう！

◇彫刻のきもち??◇

『ちょうこくをみていると、どんなきもちになって、どんなきもちがつたわってくる?』

「あさ、おきて、そらを見て、かぞくの人とごはんをたべて、みずをのんで、そとをあるいて、ともだちとはなしをして…またよるねるまえに、…いろいろなことをかんがえて、あたらしいことを見つけ、いっばいびっくりして、しずかなきもちにもなって…こんなときに、こころのなかにはいろいろな「きもちのたね」がうまれてきます。」

「きもちのたね」、きもちって、目にはみえなくて、たねのままでは小さくて…だから花をさかせてみんなにもみてほしいとかんがえて…

目にはみえない「きもち」を、どんなかたちにしてやると、みんなにみえるようになるのでしょうか。そしてそれはどんないろでしょうか。

☆「きもち」

それは人のかたち？どうぶつのかたち？まるいかたち？さんかくのかたち？
それは木のいろ？石のいろ？きんぞくのいろ？

「きもちをかたちにしてみると、人やどうぶつのかたちになるのかな…？」
そんなことをかんがえて、くふうしてできたものが『彫刻』なのです。

さくひんをみるみんなもかんがえてみてください…

「太くて、大きい」と…つよいきもち？
「つるつるしている」と…やさしいきもち？つめたいきもち？
「手をひらいている」と…げんきがでてくる？
「まるいかたち」は…たのしいきもち？おわりがない？みんなっていうかんじ？

どんなかたちが、どんなきもち？

「つくった人のきもち？」それとも「あなたのきもち？」

今のあなたのきもちはどんなかたち、どんなさくひんがあなたのきもちですか？
てらん会場でさがしてみてください。